

**令和6年度
市民と議会の懇談会概要**

**令和6年 10～11 月開催
宮 津 市 議 会**

市民と議会の懇談会—結果概要—

(令和6年10～11月開催)

1 班編成

班	構成議員	担当地区
1班	◎松本 隆、 宇都宮 綾、河原 未彦、 星野 和彦、坂根 栄六、幾世 恭典	吉津、府中、養老、日置、世屋、 宮津（東部・城南部）
2班	◎久保 浩、 小濃 孝之、安田 裕美、 長本 義浩、堀 未季、横川 秀哉、 松浦 登美義	栗田、由良、上宮津、日ヶ谷、 宮津（城東部）、宮津（中部・西部）

◎：班長

2 開催日時

●地区別

対象地区を設定していますが、ご都合のつく会場に参加いただいています。

開催日時		会 場	担当	参加者数
10月21日（月）	19：30～21：00	（東部・城南部） 城東会館	1班	9人
10月29日（火）	19：30～21：00	吉津地区公民館		16人
10月31日（木）	19：00～20：30	府中地区公民館		7人
11月1日（金）	19：00～20：30	養老地区公民館		8人
11月5日（火）	19：00～20：30	日置地区公民館		18人
11月6日（水）	19：00～20：30	世屋地区公民館		7人
10月28日（月）	19：00～20：30	栗田地区公民館	2班	9人
10月29日（火）	19：00～20：30	（城東部） 福祉・教育総合プラザ		1人
10月30日（水）	19：00～20：30	（中部・西部） 福祉・教育総合プラザ		7人
11月1日（金）	19：30～21：00	由良地区公民館		19人
11月5日（火）	19：30～21：00	上宮津地区公民館		19人
11月7日（木）	19：30～21：00	日ヶ谷地区公民館	7人	
計		12会場		127人

3 報告概要、意見等

第1班の報告 2 ～ 13 ページ

第2班の報告 14 ～ 24 ページ

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年10月21日（月）19：30～21：00
地区 開催場所	（東部地区・城南部地区）城東会館
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾・河原末彦・星野和彦・坂根栄六・幾世恭典
参加人数	9人
令和5年度決算に関する質問	・令和5年度の人件費について対前年度比は。また、近隣市町の状況とその比較は。
決算報告についての意見	なし
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百合が丘の公民館、府営住宅5階建て。 ・大手川の改修、松原橋周囲のしゅんせつ徹底。（土砂流入で道路に水があふれる状態） ・福田会館は山の上で避難しづらい。福田川のしゅんせつを望む。 ・滝馬川改修で安全性の確保はできているのか。 ・大雨などの避難先は城東会館・宮津天橋高等学校になっている。 ・家の2階に上がるよう呼び掛けている。 ・以前は旧社会福祉協議会の施設が近くにあり良かった。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災の経験から、常備品を用意している。 ・断水時の対応として風呂を満水にしておく。また逆流を防ぐ。 ・災害時に自販機利用のために小銭の準備。 ・グッズは寝ている部屋に置いておく。 ・少量・肌着の持ち出しを考える。 ・避難所に行くまでに、大手川からの越水による道路が安全かどうかの判断が難しい。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者避難に対する情報の公開方法の見直し。 ・若者の参加。 ・隣組の方々が動くことが大事になる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画は作成できていないが、きめ細かな防災避難を考 えることが大事になる。 ・地域との繋がりが薄い「独身者・単身高齢者」への情報伝達方 法を確認しておく必要がある。 ・常日頃から避難者自身の健康管理をし、自力で逃げるようにす る。LINE による配信で事前に避難所を知っておく。 ・かつての一棟建ての社宅から個々のアパートが社員社宅へと変 容してきていることから、個々の避難対応が必要となっ てきている。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手川・神子川・大膳川のしゅんせつを望む。 ・山林の荒廃・倒木・流木等の対策。 ・避難所（宮津天橋高校）までの道路の冠水対策。 ・避難所が活動拠点になるため、避難者のプライバシー保護対策。 ・防災専門家を招いての学習会。 ・防災無線が聞こえにくい。携帯電話の活用とラジオ放送を望む。 ・AED 設置マップ作成と周知。屋外設置することで、緊急時に利 用できるようにすることが必要。 ・海拔の標識を示すことで、海拔の認識をする。 ・食料備蓄の不安。（1日分／市民）台風23号時は、水がなく大 変だった経験から、食料備蓄、調達方法の備えが必要。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1班 班長 松本 隆

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年10月29日（火）19：30～21：00
地区 開催場所	（吉津地区）吉津地区公民館
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾・河原末彦・星野和彦・坂根栄六
参加人数	16人
令和5年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・市債が減額にある中で、今後の施設建設予定は。 ・ふるさと納税の返礼品等に係る経費の割合は。
決算報告についての意見	なし
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度頃は全地域地籍調査後に税額適用の話があったと思うが、財政健全化で地籍調査結果の登記できた地域から調査後の地籍が税に反映され5,000万円増収の説明があった。他地域の調査の進捗状況はどうか。また、登記後の一部の地域から固定資産税が上がるのは不公平ではないかとの声がある。 地籍調査の結果、面積が増加したところの固定資産税は、市全体の地籍調査が終了するまで反映させないという方針だったと思うが、地域ごとの地籍調査が終了した段階で反映している。不公平ではないか。 ・火葬場建設計画の考えはあるのか。
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉津地区公民館は平屋で水害時に課題があり、規模から判断しても全住民を収容できない。 ・公民館だけでなく、吉津小学校は3階建てで、耐震工事を施してあるので避難先にすべきだ。 ・山間部に高速道路ができてから、川の土砂が増加したのではないか。 ・民間企業が設置した阿蘇海のポンプが老朽化したため、改修の補助を市が行うべきだ。 ・阿蘇海のオイルフェンスにごみが詰まるので、市が改善すべき。 ・宮川の上流と下流域もしゅんせつを増やすべきだ。 ・食料の備蓄が足りないのではないか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・タケ丘は隣組単位で確立している。近所の人を網羅している。 ・風水害の場合、自分の家の2階に逃げるようにしている。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電機、ソーラーパネル、屋外薪ストーブ、プロパンガス活用、石油ストーブが準備できている。 ・個人購入だと費用負担が大きい。公的補助金制度の創設で補助を望む。 ・持ち出せる防災グッズの準備（食料品等含む） ・新しい市営住宅では、遊具のベンチが災害対応で炊飯可能。他所でも増やすべきだ。 ・プロパンガス等の発電機を公共施設に設置する自治体もあり、宮津市でも設置すべきだ。 ・個人で揃えるようにしている。 ・何年も前に自治会で防災グッズの案内配布をしている。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須津自治会は6年前に地区防災計画を策定し、高齢者の情報も把握している。 ・避難場所についてアンケートを実施すべきだ。 ・隣組でLINEグループをつくり、情報伝達を促進している。 ・地区防災計画はできているが避難に至る災害が発生していないため、計画に定めた実際の災害時の行動・検証まではしていない。 ・阪神淡路大震災を教訓とした研修を受けに行き、とにかくレベル3で逃げよということを学んだ。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の避難訓練は毎年地区を変えて行い、消火器の使い方や人を選ぶ訓練等、実際の訓練で浸透を図るべきだ。 ・吉津小学校を避難所にする。 ・令和5年度にも3時間で地域に水があふれた。倒木でゆふり谷が通行できなくなった。地域が困っているとき、どこに連絡すべきか明確でない。行政の災害時の対応窓口を一元化してほしい。 ・情報待ちになる。直接の情報を受ける連絡体制が必要になる。共助では限りがある。どう公助として体制を組めるのか。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1班 班長 松本 隆

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年10月31日（木）19：00～20：30
地区 開催場所	（府中地区）府中地区公民館
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾・河原末彦・星野和彦・坂根栄六
参加人数	7人
令和5年度決算に関する質問	なし
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率約45%の状況。納税者比率を見る必要がある。 ・単独費でできる事業はほとんどない。 ・人件費は、人員減すれば良いのではなく、一般職員の給与カットも必要。 ・職員が異動することで対応が分からない。 （職員の専門職の必要性や人事評価） ・企業誘致は固定資産税軽減などの対応が必要ではないか。
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治山の必要性。（山の崩壊、状況の把握） 真名井川の決壊の可能性があるため全面改修は必要。 砂防ダムより上部の改修が必要。（土砂の流入で） ・道路の改修。 伊根町までの道路新設（強靱なトンネル）することにより、府中以北住民の孤立を防ぐ。 ・注意報と警報の違いを知ることが大事。 ・大雨時に、裏山に近い小学校や地区公民館は避難して大丈夫か。 ・災害等を経験してきた人は、いざというときは逃げるという意識が強い。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区毎の井戸水確保。（災害時には水の確保が困難である） ・災害等で下水道の破損により逆流の可能性が高い。地域毎に細分化（集落排水）することで、災害を最小減に抑えられる。 ・避難所の食料備蓄量を確保すべきだ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域エリア毎に細かく食料等の備蓄、自家発電が必要。 ・公民館には備蓄品を備えていない。避難所としての整備ができているか点検が必要。乾パンくらいは用意が必要。 ・避難所に10人分くらいの備蓄品を用意すべきである。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助け合いの地域を作っていく。最善を尽くすことが分かっていない。 ・地域で何をどのようにしようかを考えるべきである。 ・広い視野を持ちながら助け合いをしてもらう。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全域の通信環境整備。災害の状況把握。 ・ライブカメラの増設により、映像での状況把握。 ・メイン道路の除雪対応。（降雪時は通行が困難） ・資料や言葉で話すと同時に、宮津市で災害時の映像を作成して見ていただくことが一番良いのでは。 ・地域の役員が年次ごとに代わることで、情報が一部の人に限られる。一方で個人情報も漏れても問題になる。 ・たすけあいネットワークが本当に機能するかどうか疑問。 ・地区防災計画のひな形を行政で作ってもらえないか。 ・行政運営が縦割りのため高齢者が複数人になると避難に限りがある。民生児童委員の負担が重くなる。健康福祉部と連携を取り進めて行くべきである。 ・神戸に在住経験のある人は、逃げる動作が素早い。身を守る危機意識が違う。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1班 班長 松本 隆

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年11月1日（金）19：00～20：30
地区 開催場所	（養老地区）養老地区公民館
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾・河原末彦・星野和彦・坂根栄六
参加人数	8人
令和5年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・基金残高が高まる中で、地方債残高が前年度末から8億8,000万円減の149億8,000万円であるが、真水（純残高）は如何ほどになるのか。 ・積立金はどのような目的のためにあるのか。 ・過疎費の返済などは、どのようになっているのか。
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地方分権してきたのが間違いであった。国が責任を持って交付金を支出するべきだ。
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道178号線の早期強靱化。（波見地区と長江地区間） ・養老地区公民館が避難所となっているが、養老地区住民が避難できない。 ・9集落ごとの避難所が必要だ。（地区施設など） ・旧養老小学校に避難しても鍵がかかっている状況。各自治会で鍵を持つことが必要。 （能登半島地震の事例：避難した学校施設は施錠状態だったため、ガラス窓を割って鍵を開けた。） ・避難所の備品（養老小学校体育館に毛布300枚）。正月に20～30人が避難した。（寒い、トイレがない状況。） ・今年元旦に起きた能登地方地震の時に避難所に行かなかった。危機意識の温度差がある。 ・避難所自体が危ないこともある。見直しが必要ではないか。 ・田原地区の避難所も安全とは言えない。市町を越えての避難体制。長江は避難所がお寺で極めて高い箇所になる。

	<p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災サンプルなど説明会の開催。 ・持っていない。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の避難の課題。 ・避難した証として「タオル」を玄関先にかけておくなど、避難確認の対応が必要。 ・発電機や井戸の活用。（電源不要の手動ポンプの必要性。） ・地域も高齢化が進み老々介護が必要になる。 ・何か起きた時に隣同士で助け合う地域を超えた防災避難体制。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波見地区は70%が合併浄化槽を整備しており、災害時に有効。 ・避難所までの移動において足の確保が必要になる。 ・国道178号線は唯一の生活道路になるため、里波見から長江間の沖だし道路整備を進める必要がある。住民説明がないため自治会は認識が薄い。 ・危険区域の防災パトロールを実施している。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1班 班長 松本 隆

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年11月5日（火）19:00～20:30
地区 開催場所	（日置地区）日置地区公民館
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾・河原末彦・星野和彦・坂根栄六
参加人数	18人
令和5年度決算に関する質問	・ふるさと納税の返礼品に係る経費の割合は。
決算報告についての意見	・住民に必要な予算を使わず、黒字としているのではないか。
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日置地区公民館の避難所以外に、臨時避難所は上・浜各地区の公民館となっている。 ・民間高齢者施設の協力。（津波時の避難先） ・高齢者の避難が困難。 ・たすけあいネットワーク（民生委員・消防団）の作成だけにとどまっている。個人情報保護により、避難の助けが必要な人に対し住民共有ができていない。 ・サイレン吹鳴の必要性。住民の命を守ることは、財源がないでは済まされない。 ・別荘地（マンション等を含む）の避難。 ・避難先は、風水害は学校、津波は青嵐荘になる。 ・元旦に起きた能登半島地震では、注意報だったので、家に待機する人が大半だった。避難者は寒いため、青嵐荘を解放されて避難した。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の充実。（各備蓄量や発電機等） ・防災食品の配布や食べ方などの防災イベントを開催する。 ・用意していない。 ・ポータブル電源、反射式ストーブ、カセットコンロ、延長コード、タンク入りの水など用意している。 ・避難先においては、行政と地元地域の考え方の違いがある。

	<p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有等。（各自治会でグループ LINE の活用） ・通信機器の活用ができない高齢者等には、地域のコミュニティで情報伝達。 ・災害ネットワークに名簿が上がっていても活用されていない。 ・誰が指示するのか、誰に連絡するのか明確になっていないため組織的に機能していない。避難訓練ができないものか。 ・日置地区は大きな災害を受けていないため危機感が薄い。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は市民ボランティアに頼りすぎている。 ・「お金がない」という市の姿勢を変えるべきである。 ・市からの窓口としてあらゆることを自治会が担っているが、自治会未加入者に対し、増税を検討してはどうか。 ・民間施設と避難所協定を結んでおくことが大事である。 ・地元消防団は災害ネットワークすら知らされていない。情報共有してほしい。 ・台帳に記載されていない人や外国人の対応はどうなるのか。 ・避難者への食料を確保しておく必要がある。 ・救援物資を船で運ぶとき、日置は船が停泊できないことを念頭においてほしい。 ・火災や風水害などの防災メールが送られてきても出動すべきなのかどうかよくわからない。サイレン吹鳴をしてほしい。 ・現在、地元消防団員が 25 人ほどであり災害時に対応できるのか。 ・高石は国道 178 号の強靱化計画の範囲に入っていない。災害を受け道路が寸断された場合、通行ができなくなる。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和 7 年 1 月 31 日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1 班 班長 松本 隆

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年11月6日（水）19：00 ～ 20：30
地区 開催場所	（世屋地区）世屋地区公民館
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾・河原末彦・星野和彦・坂根栄六・幾世恭典
参加人数	7人
令和5年度決算に関する質問	・令和5年度決算については何が成果だったのか。
決算報告についての意見	なし
その他意見	・職員の人材確保は、市内在住者で採用するべきではないか。
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5村が各々離れており、災害時は道路の危険性がある。 ・集落単位での備蓄などが必要。 ・各地区公民館はあくまでも緊急避難所であり、日置地区公民館が避難所になるが遠い。 ・数年前に上世屋地区の方が小学校体育館に避難したことがある。 ・旧世屋小学校施設に十数年前に毛布を備蓄したが、他備蓄物はない。安全性も含め、点検が必要である。 ・昭和40年になだれ被害に遭ったこともあり、豪雪時の避難も考える必要がある。 ・過去に日置地区公民館に避難したが、世屋に通じる道路が通行止めになり自宅に帰ることができなかった。集落ごとの避難所を考えるべき。 ・原発避難では、木子は30km圏外だが圏内に入っている。原発方面の日置地区公民館への避難ではなく、京丹後市など反対方向へ避難に行けるように考えて欲しい。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪の対策助成が必要である。（冬季は1m以上積雪となる） ・家庭用防災グッズ充実のための整備。 ・4日間ほど停電になった時、反射式ストーブで暖を取った。 ・発電機、反射式ストーブ、蓄電池。

	<p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長同士のグループ LINE を活用している。 ・上世屋地区の婦人消防は訓練を実施している。（移住者中心） ・消防団の支援隊の活動。 ・畑地区は地区防災計画を作成しているが他の地区はない。 ・とにかく自治会長と連絡を取る。風水害時の声掛けはできている。 ・高齢者の対応では一緒に連れて避難所に行った。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災時などに必要な防火水槽の整備。 ・自治会に加入されていない方、付き合いがない方への避難誘導を誰がするのか。 ・助け合いネットワークの名簿を教えていただけない。個人情報関係が壁になり取り扱いができない。 ・他市町では災害時に情報提供されているところもある。 ・名簿に記載の住所は在宅になっているが、実際は施設に入所しているケースもある。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1班 班長 松本 隆

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年10月28日（月）19：00 ～ 20：30
地区 開催場所	（栗田地区）栗田地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃孝之・安田裕美・長本義浩・堀 未季・横川秀哉 松浦登美義
参加人数	9人
令和5年度決算 に関する質問	なし
決算報告につい ての意見	なし
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて 聴取した意見等	<p>【避難先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田井自治会はメルキュールホテルを避難先としている。 ・ 銀丘地区は激甚災害指定地区になっている。津波の場合の避難先は地区公民館にしているが、豪雨の場合は拡声器を使って一軒一軒注意喚起している。 ・ 脇地区は栗田公民館まで1 k m以上あるので、地区の公民館を避難先としている。 ・ 一時避難先としてメルキュールホテル、各地区公民館。 ・ そもそも避難所まで行けるかが心配。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に対する危機感がなく、防災グッズの準備ができていない。地区で準備するかどうかも含めて今後の課題となっている。 ・ 防災グッズを事前に準備している。2、3日分の食料や水、毛布なども自分で確保しておくことが必要。 <p>【自助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火災時のメール着信音をサイレン音にして、他のメールと区分している。 ・ バールなど非常時を想定したグッズの準備。 ・ 普段からの意識と訓練が大切。 ・ 災害を想定して自分なりにできることを考えておく。

【共助】

- ・中津地区では、たすけあいネットワークに基づき、民生委員協力員が要配慮者に声掛けして避難誘導をすることになっている。11月10日にそれを想定した津波避難訓練を行う。
- ・消防団員数が減ってきているので、避難を消防団に頼るのは難しい。消防団員の増員が必要。
- ・災害について、栗田地区全体で助けあう体制づくりが必要ではないか。
- ・中津では地区防災計画を策定し、自主防災組織を作っていく。
- ・災害の種類を全員が把握しておくことが重要。
- ・自分のことで精一杯で、高齢者や身体障害者の避難まで手が回らないと思う。
- ・人と人のつながりが希薄になりつつある。
- ・たすけあいネットワークの確立。

【公助】

- ・火災は1分1秒を争うのでメールでは不十分であり、出火報(サイレン)を吹鳴することが必要ではないか。
- ・いざという時に連絡が取れない。弱電波帯は携帯が通じない。インフラの整備は行政として一考いただきたい。
- ・一時避難所にも、せめて水と毛布は備蓄すべきでは。
- ・行政の中に地区担当を作ってもらい、なんでも相談できるよう窓口を固定化していただきたい。
- ・災害時に避難したら、玄関に何らかの印を付けたほうが良いと思う。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年10月29日(火) 19:00 ~ 20:30
地区 開催場所	(城東部地区) 福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃孝之・安田裕美・長本義浩・堀 未季・横川秀哉 松浦登美義
参加人数	1人
令和5年度決算に関する質問	なし
決算報告についての意見	・平成30年度に策定した「財政健全化に向けての取り組み」の5年間が令和5年度で終了したが、未達成となった。今後の第2期行財政運営指針の取り組みでは、計画どおり達成するようにされたい。
その他意見	・エネ研跡地の水族館(丹後魚っ知館)は、宮津市営として残してほしい。
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波路町自治会は、特別養護老人ホーム夕風の里に依頼して一時避難所になっているが、宮津市が音頭をとってもらえば先方と交渉しやすいのではないか。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織は全自治会(100自治会?)中、78自治会でしか組織されておらず、全自治会で組織される必要がある。 ・災害避難訓練の時に非常食の試食をすればどうか。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市地域防災計画の中に、自治会長、民生委員の役割が記載されていない。全自治会で自治会ごとの防災計画を策定する必要があるが、市が義務付けないとできないのではないか。 ・今後、津波の時に潮位をしっかりと測定すべきだ。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年10月30日（水）19：00 ～ 20：30
地区 開催場所	（中部地区・西部地区） 福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃孝之・安田裕美・長本義浩・堀 未季・横川秀哉 松浦登美義
参加人数	7人
令和5年度決算に関する質問	なし
決算報告についての意見	・家計簿に変換しての説明は分かりやすい。
その他意見	・人口減少時代に選ばれるには、他市のように大きな自主財源が無い。 ・仕事が宮津になくても、福知山や綾部に仕事に行けばよい。
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝上グラウンド、弓道場へ避難。寒さ対策が必要。 ・能登半島地震の時に中学校に避難したが、門が閉まっていた入れなかった。 ・情報が少ない。こまめな情報伝達方法を使い、今後どうすべきか要検討。 ・大雨の時は、降る前に避難しないといけない。 ・市民体育館への避難はむしろ危険な場合がある。 ・実際に災害が起きないと解らないことが多い。 ・大雨の時は、垂直避難しかないのでは？ <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ用品（木くずを燃やすコンロなど）を準備している。 ・非常用食品としてアルファ米、缶詰、乾パンなどがある。 ・ランタン、懐中電灯、手袋、寝袋などを常に車に積んでおく。 ・用を足すときに隠すポンチョ、小さな食器、洗剤 ・水とインスタントラーメン ・食品用ラップ（保温、水を使わなくても良い）

	<p>【自助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊き出しをするなど、避難生活を経験しておくことは大事。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁師町自治会の自主防災組織は組長が隊員になって組織しているが、高齢で活動できない隊員もいる。 ・敬老会の時に線路まで上がる津波避難訓練をしたが、民生委員の負担が大きい。 ・PTAや自治会の連絡網がきちりしていれば、いざという時に役立つのではないか。 ・声かけで精いっぱい、誰かを背負ってまでの避難は無理。 ・隣組で災害弱者を把握してもらおう。 ・組長がその気にならないと進まない。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波や豪雨の時に防災無線は聞き取りにくいので、どのくらいの水が来ているのか正確な情報がほしい。 ・避難所でのプライバシーを確保してほしいが、自治会では財政的にできないので市にお願いしたい。 ・自治会長会議などで地域の課題を出して、行政と一緒に考える機会を。 ・公助は、あくまで復旧のためのもの。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年11月1日（金）19：30 ～ 21：05
地区 開催場所	（由良地区）由良地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃孝之・安田裕美・長本義浩・堀 未季・横川秀哉 松浦登美義
参加人数	19人
令和5年度決算に関する質問	なし
決算報告についての意見	なし
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッグに防災グッズを入れて準備しているが、中身の点検ができていない。 ・非常用トイレ、非常食、水は準備している。 ・災害は突然。常に防災グッズを持って生活しているわけではない。 <p>【自助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊き出しをするなど、避難生活を経験しておくことは大事。 ・津波の恐れがある場合は、たきの不動尊へとりあえず避難。 ・由良は昔から「海に向かって逃げろ」とも言う。 ・逃げられない場合、家の中で助かる場所を考えておくこと。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日に由良地区で防災訓練を行うことにしており、その時に非常食を配布する。 ・水害時に、公民館で備蓄している非常食を調理して一人暮らし高齢者に配食しようと思うが、保健所の許可が必要なので難しい。 ・災害時の指揮命令系統がはっきりしない。普段から自分自身の役割を把握しておく必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年1月1日の能登半島地震時に、消防団がワゴン車を出すなどして約30人が奈具神社に避難した。 ・高齢者は山に避難するのは困難。奈具神社に避難できても食料等がないため長時間はできない。次の避難先の検討が必要。 ・以前は独居老人のリストがあった。 ・身体障害者、母子家庭、父子家庭など自己判断でリスト掲載を拒否されたら、民生委員は見守ることしかできない。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害等の時に由良地区は孤立するので、その場合の対策を検討する必要がある。福知山市や舞鶴市からの支援も必要。 ・火災時に出火報(サイレン)を吹鳴してほしい。 ・災害ネットワークの名簿があまり役に立っていないのでは。 ・行政、社協、災害ネットワーク、それぞれがバラバラで連携されていない。 ・このままでは民生委員の成り手がなくなる。 ・緊急連絡先がリストによって違うため、その調査に手間がかかる。 ・内閣府からの災害に対する財源の確保を。 ・各地区の一時避難所にも最低限の備品の設置をお願いする。 ・旧幼稚園を利活用し、消防団の詰め所や地域の防災拠点として整備していただきたい。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年11月5日（火）19：30 ～ 21：00
地区 開催場所	（上宮津地区）上宮津地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃孝之・安田裕美・長本義浩・堀 未季・横川秀哉 松浦登美義
参加人数	19人
令和5年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・上宮津地区公民館の移転事業の予算執行について ・エネルギー研究所跡地についての進捗状況 ・つつじが丘団地の販売促進について
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじが丘団地は除雪に入らない地域がある。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・議員からの政策立案なども積極的にやっていってはどうか。 ・地域によって補助率の差があるのはどうしてか。
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定避難先まで遠くて行けない。独居の方も多く、孤立するのではないかと不安。 ・学校などにはエアコンがなく関連死が心配。 ・現実的に避難が難しい。市はどう対応してくれるのか。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カセットボンベを使った発電機が役に立つ。 ・能登半島地震災害の停電の状況を目の当たりにして、石油ストーブ、まきストーブを購入した。 ・各家庭で3日間くらいの食料を備蓄しておくことが必要。 <p>【自助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃げるという意識が大切。 <p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅雨前に地区内をパトロールし、危険だと思われる箇所があれば市に報告している。

- ・住民に家の近くの法面を毎日見てもらい、異変に気付いたら自治会長に報告してもらうようにしている。
- ・平日昼間に災害が起こった場合、高齢者だけでは避難が難しい。
- ・個人情報保護の関係で市から情報提供がされない中で、災害の避難時に、近所で困っている人がいるかどうか分からないことがある。地域で助け合う必要があるが、そのためには普段のコミュニケーションが重要。一人暮らし高齢者が助かった事例がある。
- ・各地域での避難訓練。地域のことは地域が一番よく知っている。
- ・地区防災計画を立てる。

【公助】

- ・シンガポールでは災害避難所において、各家庭ごとにテントが貸与されるなどプライバシーが守られている。世界的にはプライバシーが守られている国が多いが、日本は遅れている。
- ・地区公民館に毛布を備蓄している。プライバシーを守りやすい状況になっている。
- ・山が非常に荒れており、災害が起こりやすい状態になっている。
- ・大手川の支流の整備が必要。
- ・冬季に災害が起こった場合、道路の除雪がしてなければ避難できない。対策を考えてほしい。
- ・特別な部隊が必要ではないか。
- ・集団移転も視野に入れてはどうか。
- ・各戸の耐震基準の状況。

【その他、会場で出た質問】

- ①防災計画の見直し版の状況について。いつごろまとまるのか？
- ②災害時に他の自治体への避難は可能か？行政間の連携は？

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩

令和6年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和6年11月7日(木) 19:30 ~ 21:05
地区 開催場所	(日ヶ谷地区) 日ヶ谷地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃孝之・安田裕美・長本義浩・堀 未季・横川秀哉 松浦登美義
参加人数	7人
令和5年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじが丘団地の総区画数は。 ・つつじが丘団地の販売価格の見直しは。
決算報告についての意見	なし
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・降雪期の除雪の基準の考え方(15センチ)の見直し。 ・市の正職員数・会計年度任用職員数。 ・職員数と市民サービスのバランス、部署により対応が遅い。
懇談会のテーマ	「地域の防災について」
テーマについて聴取した意見等	<p>【避難先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨が降っている時に避難するのは困難。降る前に避難する必要がある。 ・立地区は防災行政無線と有線放送がつながっており、各戸に避難情報が届くが、大西地区は有線放送がない。降雨や強風時には防災行政無線が聞こえない。 ・どこに行っても土砂災害が起きそう。 ・一時避難所に行くのも大変。 <p>【防災グッズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ用品(ガソリンのストーブなど炊事できるもの)を持っている。 ・「日ごろから備えたい防災グッズ」はだいたい揃えている。 ・懐中電灯 ・以前の地区運動会の景品で、非常持ち出し袋をもらった。 ・「自分は大丈夫」という思いがあり、なかなか防災グッズを揃えていない。

	<p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 民生委員協力員など、災害時の高齢者の避難誘導者を決めていると心の負担になるなど共助には課題がある。高齢者自身が自分で判断して避難する必要がある。・ 災害時にはみんなが協力していく必要がある。そのために、普段から人間関係をしっかり作っておく必要がある。・ 日ヶ谷地区は高齢化率が60%を超えていることから、高齢者に対する避難援助が難しい。・ 時間雨量が100ミリを超えたら、土砂災害があちこちで起こるのではないか。・ 以前は、消防車両で独居老人など乗せて避難していた。・ 隣近所とは顔の見える関係で良い。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 個人の土地で土砂崩れが起きた場合、公助での復旧は出来ないか。・ 復旧に向けての事務的なこと。（被災申請など）・ 農地の激甚災害指定に時間が掛かりすぎ。・ 農地の復旧までの生活支援。・ 大きな災害では、小さな集落が忘れられないか心配。・ 地域の孤立が心配。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和7年1月31日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩